

**びゅうバス「新島八重と幕末歴史号」が運行開始
本市への観光客の増加に期待**

5月11日から、JR東日本のびゅうバス「新島八重と幕末歴史号」の運行が始まり、歓迎セレモニーが行われました。このバスは、小峰城跡、大内宿、鶴ヶ城、大河ドラマ館など、白河と会津地方を巡ります。再度観光に来てもらえるよう、小峰城跡での滞在時間に、ツーリズムガイド白河が城の歴史などを解説し、本市の魅力を伝えています。

びゅうバスは、9月30日(月)まで毎日運行します(☎JRバス東北福島支店☎024-534-2011)。



▲城山公園で乗客を歓迎

**白河～行田～桑名 絆リレーマラソン
支援に感謝し、3市の絆をさらに深める**

5月2日から6日にかけて、白河市、行田市(埼玉県)、桑名市(三重県)の友好都市締結15周年を記念したリレーマラソンが行われ、白河走ろう会、行田走友会、桑名走友会のメンバー63人が、白河市から桑名市までの635kmを、たすきでつなぎました。

ゴール地の桑名市には、震災時の支援に対し感謝の気持ちを伝えるため、鈴木和夫市長、高橋光雄市議会議員、和知繁蔵白河商工会議所会頭からのメッセージが届けられました。



▲メンバーが心をひとつにゴールを目指しました

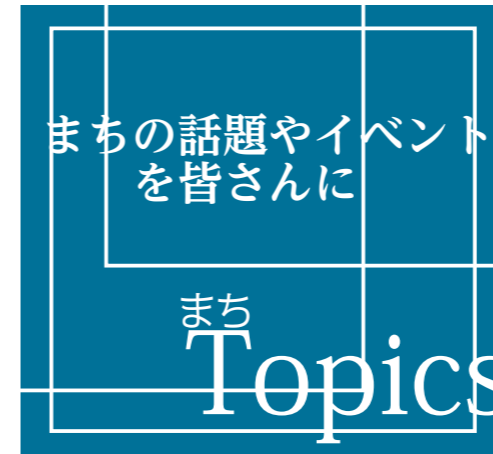
**姉妹都市締結25周年記念
市民訪問団がコンピエーニュ市へ**

本市とフランス共和国コンピエーニュ市の姉妹都市締結25周年を記念して、5月18日・19日に鈴木市長、高橋議長を含む市民24人が同市を訪問し、両市の交流を深めました。

同市庁舎で行われた式典では、両市長などが友好を誓う文書に署名するとともに、鈴木市長が東日本大震災後にアリエル副市長から届けられた義援金と激励の寄せ書き、毎年実施している中学生派遣事業への協力に対する感謝を述べました。



▲コンピエーニュ市を訪れた市民訪問団(同市庁舎前)



▲鈴木市長に引退を報告した藤田さん(右)

**藤田敦史さん現役引退報告
指導者としての活躍に期待**

4月21日の長野マラソンを最後に現役を引退した、本市出身のマラソンランナー・藤田敦史さんが、4月30日に市役所を訪れました。

藤田さんは「長い間、現役で頑張ることができた源は、地元の方をはじめとする多くの皆さんの声援でした。これまで支えていただいた皆さんへの感謝の気持ちでいっぱいです。今後は富士通に残り、コーチとして後進の育成に励み、感謝の気持ちを持てる選手を育てたいです」と話していました。

鈴木市長は、「勇気と感動を与えていただきありがとうございます。これからは指導者として良い選手を育ててください」とねぎらいと激励の言葉を贈りました。



▲藤田さんから皆さんへのメッセージ

**白河の歴史 再発見! 事業
茶道の歴史を学び、作法を体験**

「白河の歴史 再発見! 事業」で、5年生を対象にした茶道体験が5月21日に関辺小で始まり、白河茶道連盟の協力を得て校内にミニ茶室を設置し行われました。児童たちは、茶道の歴史を学び、作法を体験しながら理解を深めました。

昨年度から始まったこの事業は、今年度は対象を小学2年生から中学2年生までに拡大し、茶道体験や史跡めぐりなど、地元の歴史や文化の理解を深める活動を各学校で実施していきます。



▲作法を体験する児童たち